

湖南省高等教育自学考试
课程考试大纲

高级日语（一）
（课程代码：00609）

湖南省教育考试院组编
2016年12月

高等教育自学考试课程考试大纲

课程名称：高级日语（一）

课程代码：00609

第一部分 课程性质与目标

一、课程性质与特点

高级日语（一）是高等教育自学考试日语（本科）专业的专业核心课程。它是日语专业考生掌握这门语言的综合性基础课。它对考生将来继续深造或从事使用日语的相关职业都有着非常重要的作用。高级日语（一）具有综合性、应用性特点。综合性特点在于它不仅涉及了日语学科的基础知识，而且综合运用有关日语语言、日本文化、社会、经济等各个方面的知识；应用性特点在于以日语语言语法句型为主要素材，为加深对日本的社会风土人情理解提供参考，为顺利进行日语语言交流提供理论和方法上的支撑。

二、课程目标与基本要求

通过高级日语（一）课程的学习，培养考生综合运用日语的技能技巧，使考生具有较强的听、说、读、写、译的能力，能运用正确、流畅、生动、优美，地道日语表达的同时，让他们能融会贯通，扩大视野，拓宽知识面，全面提高考生的阅读能力和语言表达能力。

通过本课程的学习，考生应达到以下要求：听、说先行，带动读、写、译。精读多练，在充分阅读的基础上，进行重点读解，深入理解课文，培养独立思考能力。掌握基础性练习、活用性练习和综合性练习等多种练习方式，并注意把口头和笔头、课文和课外读物有机地结合起来，要求不仅仅满足于读懂文章，而是循着理解—记忆—活用的学习规律，切实地提高听、说、读、写、译的五会能力，最终达到准确而熟练地表达思想的目的。

三、与本专业其他课程的关系

高级日语（一）是日语专业的一门极为重要的专业核心课程，在日语专业中占有重要的地位。本课程的前修课程是基础日语和中级日语。这几门课程可以帮助我们掌握日语学习的基本语音、句型和语法体系，有助于更好的学好本门课程。

第二部分考核内容与考核目标

第1课 海の中に母がいる

一、学习目的与要求

通过本课的学习，掌握考核知识点中的重点词汇和句型，了解日语中随笔这一体裁的写作特点，即作者内心的记录，将自己融入这个世界这一点非常重要。本文通过描写年幼时母亲对大海的热爱之情，通过与大海的亲密接触，领悟到如

何度过人的一生这一人生哲理，品味三好达治的名句“大海中有妈妈”是本文的精髓。

二、考核知识点与考核目标

识记：主要词汇（次重点）

1. 三好達治
2. 大航海時代
3. 掻立てる
4. 満喫
5. 荒々しい
6. 冷酷
7. ひたすら

理解：类义词的学习（一般）

1. しゃがむ・蹲る・屈む
2. 寝そべる・寝転がる・寝転ぶ

应用：本课句型（重点）

1. ～とすると
2. ～といっても
3. 心ゆくまで
4. なんとかしても
5. ～だけでも
6. 気が遠くなる
7. さながら
8. ～心地
9. ～み
10. ～てやまない

第2課 田中正造

一、学习目的与要求

通过本课的学习，掌握考核知识点中的重点词汇和句型，了解日语中关于人物传记的文章特点，同时对田中正造这个被称为“明治的正义之士”有全方位的理解，他的一生就如他的名字那样正直，是完全不顾自身的利益与名誉，为了正义和人道，毫无畏惧的战斗到最后直到倒下的壮烈的一生。

二、考核知识点与考核目标

识记：主要词汇（次重点）

1. 田中正造
2. 明治の義人
3. 袴
4. 償う

5. 半ば
6. 捗々しい
7. 脆い
8. 思い余る
9. 惨め
10. 羽織
11. 煌めかす
12. 立ち退く

理解：类义词的学习（一般）

1. まみれ・だらけ
2. たまたま・偶然

应用：本课句型（重点）

1. ～放題
2. かたわら
3. ～つくす
4. ～に終わる
5. 目も当てられぬ
6. 胸を撫で下ろす
7. ひた＋動詞連用形＋に＋同一動詞
8. ～とする
9. ～あまり
10. 一つ～ない

第3課 日常の思想

一、学习目的与要求

通过本课的学习，掌握考核知识点中的重点词汇和句型，了解文章表现的一些技巧。例如，比喻法、强调法、变化法等等。同时，通过对课文内容的分析，理解游玩、自然、自由的价值观和勤奋、繁荣、进步的价值观，在协调这两种对立的价值观的调和过程中去发现人类新文明的原理。

二、考核知识点与考核目标

识记：主要词汇（次重点）

1. 徳川時代
2. キリスト教
3. ヒッピー
4. 閑暇
5. 踏み切る
6. 匹敵
7. 君臨

8. いじましい
9. 信仰
10. 勝る
11. 獣
12. 崩壊
13. 逆転

理解：类义词的学习（一般）

1. もはや・すでに
2. 再び・再度

应用：本课句型（重点）

1. ～から
2. ～以外の何物でもない
3. ～を余儀なくされる（させる）
4. もとより
5. ゆえ
6. ～と並んで
7. のみ
8. すら
9. はたして
10. ～としても

第4課 庭

一、学习目的与要求

通过本课的学习，掌握考核知识点中的重点词汇和句型，了解日本人的庭院观。即力求庭院内能反映四季的变化，并在“凝望”庭院的过程中寻求庭院的最大意义。由此引申开来，加深对日本文化、日本人的自然观的理解，明白到日本人不是把自然当作征服的对象，而是当作可以亲近的环境来对待。

二、考核知识点与考核目标

识记：主要词汇（次重点）

1. 日本の自然観
2. 茂み
3. 雑木
4. 好ましい
5. 枯木立
6. 陰鬱
7. 青葉
8. 断片
9. 押し殺す

10. 境地
11. 一軒家
12. 街路樹
13. 執着
14. 木陰
15. ふるい落す
16. 透かす
17. 親和

理解：类义词的学习（一般）

1. さりげなく・それとなく
2. ほの暗い・薄暗い・暗い

应用：本课句型（重点）

1. ～というものは
2. ～極まりない
3. 思いを馳せる
4. 思うに
5. ～に足る
6. ～ことで
7. ～にせよ
8. ～わけが（は）ない
9. ～（の）ならともかく
10. いかに～（う）ようと

第5課 木の葉の魚

一、学习目的与要求

通过本课的学习，掌握考核知识点中的重点词汇和句型，熟悉日本女性童话作家安房直子，并以本课课文《树叶鱼》来了解日语中童话这一文学体裁的特点和作者以及作品的创作特色。安房直子从创作之初始终如一地构筑幻想的世界，将现实空间和异次元空间编织一体的巧妙精心的故事构思，以及充满理性和新鲜感觉的静谧和谐的文体，这已经成为安房直子的童话艺术风格的定论。

二、考核知识点与考核目标

识记：主要词汇（次重点）

1. 安房直子
2. 漁師
3. 親心
4. 嫁入り
5. 口を寄せる
6. 囁く

7. 風呂敷
8. 木漏れ陽
9. せつせと
10. 肌寒い
11. 食い繋ぐ
12. 閉じこもる
13. ほとほと
14. 突き上げる
15. 無気味
16. 空耳
17. 和布

理解：类义词的学习（一般）

1. 養う・育てる
2. どっしり・ずっしり

应用：本课句型（重点）

1. ～かげん
2. ～といたら
3. ～一つ
4. 願ったりかなったり
5. 同一語（文節）の重ね表現
6. やたらに（と）
7. ～たて
8. ～につき
9. まだしも
10. それからというもの

第6課 なぜ車輪動物がないのか

一、学习目的与要求

通过本课的学习，掌握考核知识点中的重点词汇和句型，了解日语中说明文这一体裁的写作特点和结构框架。本文以“世界上为什么没有车轮动物”为题，说明了动物、车轮、人类在文明发展史的不同特点，最后得出结论：修造阿比亚古道和高速公路的人们是不征服到底不罢休的思想的持有者，这真是具有象征意义的事情。

二、考核知识点与考核目标

识记：主要词汇（次重点）

1. 産業革命
2. アウトバーン
3. 長閑

4. 片田舎
5. 点々と
6. 生える
7. 重力
8. 難渋
9. 砂利道
10. 平坦
11. 踏み締める
12. ネチャネチャ
13. 砂粒
14. 立ち往生
15. 進退窮まる
16. 幅広
17. 相性
18. 持ち主

理解：类义词的学习（一般）

1. ひとまず・差し当り・とりあえず
2. たちまち・たちどころに

应用：本课句型（重点）

1. ～であれ～であれ
2. 心を躍らせる
3. 余計
4. ～分には
5. ～ときた日には
6. ～に目を向ける
7. ～ない（ぬ）ともかぎらない
8. ものではない
9. ～から見れば
10. ～に越したことはない

第7課 紅山桜

一、学习目的与要求

通过本课的学习，掌握考核知识点中的重点词汇和句型，熟悉日语中散文的写作特点，知道“春之七草”和“樱之七草”的含义。同时通过课文中关于樱花的描写，增进对日本樱花文化的了解，熟知文中关于弹誓上人关于樱花树热血的传说，感受樱花的灵性和顽强的生命力。

二、考核知识点与考核目标

识记：主要词汇（次重点）

1. 紅山桜
2. 弾誓上人
3. 遊行聖
4. 桜前線
5. 滝桜
6. しず心なく
7. むくむく
8. 合間
9. 巨木
10. 費やす
11. 片思い
12. 照り映える
13. 上機嫌
14. 新芽
15. すっきり
16. 情念
17. 散り急ぐ
18. 吹き渡る
19. 飛沫
20. 予兆

理解：类义词的学习（一般）

1. とりわけ・特に・殊に
2. もどかしい・歯がゆい

应用：本课句型（重点）

1. 調子に乗る
2. ～じみる
3. ～ぞい
4. 腰を据える
5. しょせん
6. 肩を落とす
7. たまる（もの）か
8. 一＋助数詞＋一＋助数詞
9. 体を張る
10. ～なしの

第8課 蘭

一、学习目的与要求

通过本课的学习，掌握考核知识点中的重点词汇和句型，了解日语中小说这

一体裁的特点和表现手法，从小说的长短和内容以及表现手段等方面了解小说的分类情况。本文是日本女性作家竹西寛子的代表作“兰”的节选，通过文章的学习，感受作者感性的笔触和理性的敏锐。

二、考核知识点与考核目标

识记：主要词汇（次重点）

1. 竹西寛子
2. 国民服
3. モンペ
4. 混み合う
5. 網棚
6. 握りしめる
7. 暑苦しい
8. 目隠し
9. 塞がる
10. 見通し
11. 縮小
12. 女将
13. ぎごちない
14. 詰め物
15. 斜め
16. 紛らせる
17. 即座に
18. 汗ばむ
19. 意気地なし
20. 情けない

理解：类义词的学习（一般）

1. しきりに・ひとしきり・ひっきりなし
2. ひっそり・こっそり・そっと

应用：本课句型（重点）

1. ～かかる
2. ～がけ（掛け）
3. 耳に立つ
4. 疑問詞＋動詞過去形＋もの（だろう）か
5. 見るからに
6. ～てのこと
7. いやおうなしに
8. ～からいいようなものの
9. 心持ち
10. 身を任せる

第9課 「的」の文化

一、学习目的与要求

通过本课的学习，掌握考核知识点中的重点词汇和句型，对日语中“的”这个词有一个系统的了解和掌握。进而深化到理解日本人的性格特点，即不喜欢直截了当的说清楚所有事情，而是使用带有“的”的词语来进行委婉的说明，从而体会这个词的变通性、随意性、灵活性。

二、考核知识点与考核目标

识记：主要词汇（次重点）

1. 有心
2. 幽玄
3. 平安時代
4. アンダーステートメント
5. 封建的
6. 言い聞かせる
7. そこはかたない
8. ブルジョア
9. 大和言葉
10. 馴染む
11. 美意識
12. 余情
13. 造語
14. 立ち向かう
15. 猛然
16. 纏わる
17. 置き換える
18. 稀

理解：类义词的学习（一般）

1. あえて・強いて
2. 馴染む・慣れる

应用：本课句型（重点）

1. ～的
2. おのずから
3. ～ような～ような
4. あえて
5. あたかも
6. どうしても
7. ～に見る
8. ともあれ
9. ～からすれば

第 10 課 屋根の上のサワン

一、学习目的与要求

通过本课的学习，掌握考核知识点中的重点词汇和句型，对日语短篇文学作品有所认识，以日本著名小说家井伏鱒二为例，他的作品特点是以丰富的动物意象隐喻社会和人生。本课讲述取名“洒婉”的大雁如何与人类相处，通过课文内容来透析作者早期文学的艺术特征。

二、考核知识点与考核目标

识记：主要词汇（次重点）

1. 井伏鱒二
2. 気まぐれ
3. 渡り鳥
4. 羽毛
5. 取り掛かる
6. 手荒
7. 出血
8. 散弾
9. 引金
10. 火鉢
11. 成育
12. 滑り込む
13. 潜る
14. 羽織る
15. 鳴き交わす
16. 棒切れ
17. 括りつける
18. 薄情
19. 号泣
20. 朽ちる

理解：类义词的学习（一般）

1. 置き去り・放置する・ほったらかす
2. けたたましい・甲高い・声高だ

应用：本课句型（重点）

1. さもなければ
2. ～でもって
3. ～でいる
4. ～てからでなくては～ない
5. どうやら
6. 時として（は）

7. 数詞＋もの＋名詞
8. よほど
9. ～ようによって（は）

第 11 課 島で見たことから

一、学习目的与要求

通过本课的学习，掌握考核知识点中的重点词汇和句型，了解大自然与人类的辩证关系。文中以北海道的天卖岛上的所见所闻来感叹大自然的神奇，同时对比东京等大城市以经济效率优先来发展城市的愚蠢行为，借此来倡导人与自然共存的人生观。

二、考核知识点与考核目标

识记：主要词汇（次重点）

1. 天売島
2. 船外機
3. 浅瀬
4. 乗り出す
5. 傾く
6. 洞穴
7. 刻み込む
8. 嫌悪
9. 仕留める
10. 籠甲
11. 追い出す
12. 地形
13. 変貌
14. 一画
15. 野鳥
16. 蟬時雨
17. 愚行
18. 核戦争

理解：类义词的学习（一般）

1. せがむ・ねだる・せびる
2. すれすれ・ぎりぎり

应用：本课句型（重点）

1. ～つき
2. ～づたい
3. ハラハラ（と）
4. ～こと

5. ～となると
6. ～でしかない
7. ～と見える
8. ～という
9. 早計
10. すっぽり（と）

第12課 歳時記

一、学习目的与要求

通过本课的学习，掌握考核知识点中的重点词汇和句型，熟悉日本当代诗人谷川俊太郎的作品特色，品味课文中的两篇文章的诗歌意境，感受大自然瞬息万变的自然风景和岁月流逝带来的人生感悟，同时提高对散文诗歌的鉴赏能力。

二、考核知识点与考核目标

识记：主要词汇（次重点）

1. 谷川俊太郎
2. 旧曆
3. 汝自身を知れ
4. 鬱陶しい
5. 五月晴れ
6. 初旬
7. 秋晴れ
8. からっぽ
9. 呼び覚ます
10. 無間地獄
11. 果敢無い
12. 際限
13. 寒々
14. 終日
15. 冷え込む
16. 程遠い
17. 生殺し
18. 鈍る
19. 憎い
20. 雪解け

理解：类义词的学习（一般）

1. かすか・ほのか
2. せっかく・わざわざ

应用：本课句型（重点）

1. かといって
2. とんと
3. 働く
4. やりきれない
5. ~きまって
6. 辛うじて
7. ~がかかる
8. 思い出したように
9. ~といえども
10. ~てよこす

第三部分 有关说明与实施要求

一、考核的能力层次表述

本大纲在考核目标中，按照“识记”、“理解”、“应用”三个能力层次规定其应达到的能力层次要求。各能力层次为递进等级关系，后者必须建立在前者的基础上，其含义是：

识记：能知道有关的名词、概念、知识的含义，并能正确认识和表述，是低层次的要求。

理解：在识记的基础上，能全面把握基本概念、基本原理、基本方法，能掌握有关概念、原理、方法的区别与联系，是较高层次的要求。

应用：在理解的基础上，能运用基本概念、基本原理、基本方法联系学过的多个知识点分析和解决有关的理论问题和实际问题，是最高层次的要求。

二、教材

1. 指定教材：

日语综合教程（第五册），谭晶华、陆静华，上海外语教育出版社，2011年第一版

2. 参考教材：

综合日语（第四册），彭广陆，北京大学出版社，2011年版

日语（五），陈保生，上海外语教育出版社，1986年版

中高级日语语法精解，白川博之，外语教学与研究出版社，2010年版

新编日语语法教程，皮细庚，上海外语教育出版社，1989年版

三、自学方法指导

1. 在开始阅读指定教材某一章之前，先翻阅大纲中有关这一章的考核知识点及对知识点的能力层次要求和考核目标，以便在阅读教材时做到心中有数，有的放矢。
2. 阅读教材时，要逐段细读，逐句推敲，集中精力，吃透每一个知识点，对基本概念必须深刻理解，对基本理论必须彻底弄清，对基本方法必须牢固掌握。

3. 在自学过程中，既要思考问题，也要做好阅读笔记，把教材中的基本概念、原理、方法等加以整理，这可从中加深对问题的认知、理解和记忆，以利于突出重点，并涵盖整个内容，可以不断提高自学能力。
4. 完成书后作业和适当的辅导练习是理解、消化和巩固所学知识，培养分析问题、解决问题及提高能力的重要环节，在做练习之前，应认真阅读教材，按考核目标所要求的不同层次，掌握教材内容，在练习过程中对所学知识进行合理的回顾与发挥，注重理论联系实际和具体问题具体分析，解题时应注意培养逻辑性，针对问题围绕相关知识点进行层次（步骤）分明的论述或推导，明确各层次（步骤）间的逻辑关系。

四、对社会助学的要求

1. 应熟知考试大纲对课程提出的总要求和各章的知识点。
2. 应掌握各知识点要求达到的能力层次，并深刻理解对各知识点的考核目标。
3. 辅导时，应以考试大纲为依据，指定的教材为基础，不要随意增删内容，以免与大纲脱节。
4. 辅导时，应对学习方法进行指导，宜提倡“认真阅读教材，刻苦钻研教材，主动争取帮助，依靠自己学通”的方法。
5. 辅导时，要注意突出重点，对考生提出的问题，不要有问即答，要积极启发引导。
6. 注意对考生能力的培养，特别是自学能力的培养，要引导考生逐步学会独立学习，在自学过程中善于提出问题，分析问题，做出判断，解决问题。
7. 要使考生了解试题的难易与能力层次高低两者不完全是一回事，在各个能力层次中会存在着不同难度的试题。
8. 助学学时：本课程共 8 学分，建议总课时 144 学时，其中助学课时分配如下：

章 次	内 容	学 时
第 1 课	海の中に母がいる	12
第 2 课	田中正造	12
第 3 课	日常の思想	12
第 4 课	庭	12
第 5 课	木の葉の魚	12
第 6 课	なぜ車輪動物がないのか	12
第 7 课	紅山桜	12
第 8 课	蘭	12
第 9 课	「的」の文化	12
第 10 课	屋根の上のサワン	12
第 11 课	鳥で見たことから	12

第 12 课	歳時記	12
合 計		144

五、关于命题考试的若干规定

1. 本大纲各章所提到的内容和考核目标都是考试内容。试题覆盖到章，适当突出重点。
2. 试卷中不同能力层次的试题比例大致是：“识记”为 20%、“理解”为 40%、“应用”为 40%。
3. 试题难易程度应合理：易、较易、较难、难比例为 2：3：3：2。
4. 每份试卷中，各类考核点所占比例约为：重点占 60%，次重点占 30%，一般占 10%。
5. 试题类型一般分为：单项选择题、单词变形填空题、阅读理解题、中译日翻译题、日译中翻译题。
6. 考试采用闭卷笔试，考试时间 150 分钟，采用百分制评分，60 分合格。

六、题型示例（样题）

一、选择题（本大题共■小题，每小题■分，共■分）

在每小题列出的四个备选项中只有一个是符合题目要求的，请将其选出并将“答题卡”上的相应字母涂黑。错涂、多涂或未涂均无分。

1. 山好きの血が父方から流れているとしている。
A. ちちかた B. ちちほう C. とほう D. ちほう
2. 予算にセイヤクがあるので、思うままにはいかないのだ。
A. 製薬 B. 制約 C. 成約 D. 誓約
3. 実際にあって説明を聞いてから出ないと、その計画に賛成する。
A. わけにはいきません B. わけではありません
C. よりほかありません D. しだいではありません

二、次の語群から最も適切な言葉を選んで（ ）に入れなさい。必要な場合は適当な活用形にすること。（本大题共■小题，每小题■分，共■分）

アかわってイさらばウいっさいエいったん

1. 求めよ、与えられん。

三、次の文章を読んで、後ろの問いに答えなさい。（本大题共■小题，每小题■分，共■分）

（注 1）ネット社会の匿名性は完全に透明人間の心理です。自分がどこに（注 2）アクセスしているかなど、みんなにわかってしまうなら、やっても面白くないはず。それだと制限のある普通の社会と同じだから。ですから、ネット社会の匿名性というのは、心理的には透明人間の世界なのです。しかも初期には規制はほとんどなかった。今でも巨大（注 3）匿名掲示板（注 4）「2ちゃんねる」などでは、犯罪を起こした場合は摘発されますが、そこまでいかなければ、

何を書いてもいい社会になっています。

(注1) ネット社会：インターネット上の社会

(注2) アクセスする：ここでは、インターネットでいろいろなサイトに接続する

(注3) 匿名掲示板：名前を出さずに自由に書き込みができるインターネット上のサイト

(注4) 「2ちゃんねる」：日本の匿名掲示板の一つ。幅広い分野を扱い、利用者が多い。

1. 問い、筆者が考えるネット上の透明人間の世界とは、どのようなものか。

- A. 情報の発信者が誰なのかが見えてしまう社会
- B. 犯罪を起こしても誰からも気づかれない社会
- C. どんな情報を発信しても犯罪にならない社会
- D. 誰がどこに接続しているのかわからない社会

四、括弧の中の言葉を使って次の中国語を日本語に訳しなさい。(本大題共■小題，
毎小題■分，共■分)

1. 由于战争，这个村庄里除了这个孩子以外已经没有男人了。(～を除いて)

五、次の日本語を中国語に訳しなさい。(本大題共■小題，毎小題■分，共■分)

1. 夕日に紅葉が照り映えて大変美しい。私は自然の不思議な力に心を打たれた。